



三井住友トラスト・ホールディングス
SUMITOMO MITSUI TRUST HOLDINGS

とらすと通信

～営業のご報告12月号～

2020



トップメッセージ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私から、2020年度上期の業績および今後の取り組みについてご説明します。

2020年度中間期の連結業績結果

実質業務純益

1,410 億円

親会社株主に
帰属する中間純利益

800 億円

第10期中間期

営業のご報告

2020年4月1日～2020年9月30日

- 1-4 トップメッセージ
- 5-6 特集:The Trust Bankの挑戦
- 7-8 サステナビリティ
～次世代を担う子供たちに向けたSDGsの取り組み～
- 9-12 三井住友トラスト・グループのトピックス
- 13-14 三井住友信託銀行 店頭クローズアップ
- 15-16 業績ハイライト
- 17 会社概要／役員／株式についてのご案内／株式の状況



取締役執行役社長

大久保 哲夫

2020年度上期を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、各国で外出規制が行われ、経済活動が大きく停滞するとともに、お客さまの日常が大きく変容しました。

このような中、当グループは、個人のお客さまに向けたライフプランの提案や、企業年金・公的年金のお客さまに対する運用見直しの提案に際し、オンラインやWeb動画の活用を進めました。また、法人のお客さまに対しては、事業継続を目的とした資金ニーズに的確にお応えするとともに、一斉アンケートを通じ、コロナショックによる新たな経営課題の把握に注力しました。加えて、「新型コロナ ワクチン・

治療薬開発寄付口座」を開設し、ワクチン・治療薬を開発する大学などへの支援の機会を整えるなど社会貢献に資する活動に取り組みました。

当グループでは、引き続き、お客さまと社員の安全と安心、健康を第一に、社会インフラを担う金融機関として、安定的な業務継続を行ってまいります。

なお、2020年9月に判明した三井住友信託銀行の議決権行使書集計業務に係る問題は、委託先や株主の皆さま、そして資本市場からの信頼を損なう事態であり、大変重く受け止めております。改めて、グループを挙げて業務改善に取り組み、失った信頼の回復に努めてまいります。

当中間期は、新型コロナウイルス感染症拡大による営業活動への制約から、個人のお客さま向け投資運用コンサルティングや不動産仲介関連の手数料収益の減少により、実質業務純益は前年同期比130億円減益の1,410億円となりました。また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済環境悪化に備え前年度末に計上した特例引当金の一部取り崩しなどにより与信関係費用は限定的となりましたが、株式関連派生商品の損失等もあり、親会社株主に

帰属する中間純利益は前年同期比259億円減益の800億円となりました。

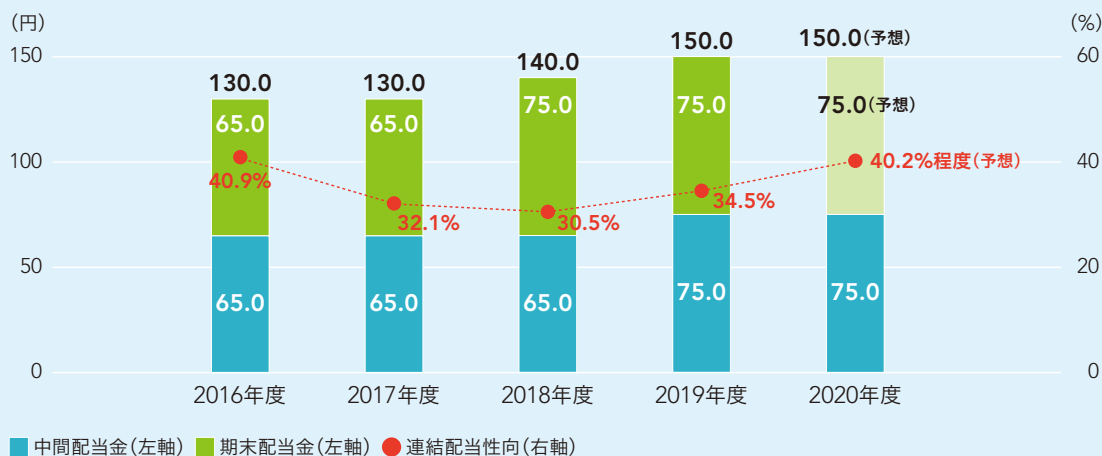
一方、2020年5月の公表予想に対する進捗率は実質業務純益で56%、親会社株主に帰属する当期純利益で57%と概ね順調な進捗となったため、通期業績予想につきましては、実質業務純益を100億円上方修正の2,600億円、親会社株主に帰属する当期純利益は据え置ききの1,400億円としております。

2020年度の普通株式の中間配当金につきましては、1株につき75円とさせていただきます。また、2020年度の普通株式の配当金(予想)につきましては、通期予想[親会社株主に帰属する当期純利益1,400億円(連結)]を前提と致しまして、2020年5月公表済みの1株につき150円から変更はございません。

《株主還元方針》

業績に応じた株主利益還元策として、2022年度を目処に連結配当性向40%程度への引き上げを目指す。さらに、資本十分性の確保を前提として、中長期的な利益成長に向けた資本活用、資本効率性改善効果のバランスを踏まえつつ、機動的に自己株式取得を実施する。

1株当たりの配当金と連結配当性向



※ 当社は、2016年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。
上記のグラフは、2016年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、配当金の推移を表記しています。

これまでもさまざまな危機と呼ばれるものがありましたが、今回のコロナショックは、その影響の広さと深さ、さらには長さにおいて、過去の危機とは比較にならないインパクトを持つ転換点になると考えています。当グループが新しい日常（ニューノーマル）においても「お客さまのベストパートナー」として選ばれ続けるために、お客さまを起点に以下の三つのテーマを中心に、営業モデルや行動モデルの見直しを進めてまいります。

1 お客さまのニーズに合わせた営業・行動モデルの転換

- デジタル化の加速やお客さまの価値観の変化を捉えた、サービス内容や提供手段の見直し
- 社内のコミュニケーションのあり方や社員の働き方の抜本的な変革

2 お客さまに支持され、逆風に負けない持続可能性の向上

- 業務プロセス全体の見直しを通じた、経営資源の大胆な入れ替え
- 拠点・店舗の役割見直しを含むコスト構造改革の推進

3 新たな付加価値を創造し、成長し続けるビジネスモデルの構築

- 既存の信託ビジネス領域におけるプレゼンス維持
- グループの機能や組織を横断・融合し、新たな成長領域を確立

ウィズコロナの先に待つ、ニューノーマルの社会は、お客さまにとっても大きな変化であると同時に、我々にとっては新たなビジネスチャンスにもなります。

さまざまなリスクと成長機会が混在し、変化に適応した企業のみが生き残ることができる環境において、当グループは、いち早く自らの変革を成し遂げ、これを強固な顧客基盤と強靱な経営体質をつくる大きな機会と捉えて、グループ全体で成長していきたいと考えています。株主の皆さまには、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に対する当グループの取り組み

当グループは、新型コロナウイルス感染症に対して、「社員および家族の健康と安全確保」「社会インフラとしての業務継続維持」「社会への感染拡大防止(含む、感染拡大しにくい社会形成への活動)」を基本スタンスとした活動に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症に対応した新商品の開発

ダイレクト・インターネットバンキング

「おうちde円預金 金利優遇キャンペーン」 に関する新型コロナウイルス対策支援寄付

三井住友信託銀行は、本キャンペーンのお預け入れ1件あたり25円を、新型コロナウイルス感染症の対策として、ワクチン・治療薬の開発・研究などを行っている団体へ寄付する旨をご案内していました(本キャンペーンは2020年8月31日をもって終了致しました)。

本キャンペーンには多くの方々からお預け入れをいただき、2020年9月中旬に200万円を14の団体へ寄付致しました。



住宅ローン

「八大疾病保障特約付住宅ローン」の 保障内容拡大

～失業時のローン返済保障(以下、失業保障)を新たに追加～

三井住友信託銀行とカーディフ損害保険株式会社は、2020年11月より、本ローンをご利用になるお客さま向けに、失業保障追加の取り扱いを開始致しました。

失業保障は、住宅ローンをご利用中のお客さまが、勤務先の倒産などにより非自発的に失業した場合、ローン返済額と同額を保険契約者である三井住友信託銀行に保険金として支払い、お客さまのローン返済に充当するものです。なお、当該保障内容の拡大にあたり、お客さまに新たにご負担いただく費用はありません。



コミュニティへの貢献

「新型コロナ ワクチン・治療薬 開発寄付口座」の開設

三井住友信託銀行は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、ワクチン・治療薬の開発などを行っている大学への支援を目的として開設した本口座について、多くの方々のご賛同をいただき、約2.6億円のご寄付をお預かりしました。それに三井住友信託銀行による1.4億円を加えた計4.0億円を14校の大学に寄付致しました。



感染拡大防止と働き方改革に向けた サテライトオフィス、テレワークの推進

当グループ各社では、職場の3密回避と社員の多様な働き方を進める取り組みに注力しています。

三井住友信託銀行では、店舗を活用し、社員が自宅近くの店舗で一時的に働けるサテライトオフィスを首都圏・中京圏・関西圏に合計26拠点（2020年11月時点）開設、テレワーク用端末の配布などにより、本社などにおいて約3割の在宅勤務が

医療用マスクの寄贈

三井住友信託銀行は、日本赤十字社の新型コロナウイルス感染症に対する医療活動および感染防止活動などへの支援として、同社に1億円を寄付致しました。

また、複数の医療機関向けに医療用マスク合計約10万枚を寄贈しました。



可能な体制を構築しました。

また、三井住友トラスト・アセットマネジメントおよび三井住友トラスト基礎研究所では、テレワーク用の端末を全社員に配布するなど、当グループ全体でテレワークの推進に努めています。

個人投資家向け活動

個人投資家の皆さまに、当グループについてご理解を深めていただけるよう個人の株主や投資家の皆さまを対象とした説明会の開催など情報発信に努めています。今年度は新型コロナウイルス感染症が依然として終息していない足元の状況を踏まえ、当社社長の大久保からの動画によるメッセージ配信を予定しています。（当社HPに2020年12月下旬掲載予定）



今後も当グループは、專業信託銀行グループとしての高い専門性と総合力、多彩な機能を用いて、
さまざまな社会課題の解決に取り組んでいきます。

サステナビリティ ～次世代を担う子供たちに向けたSDGsの取り組み～

三井住友トラスト・グループでは、「コミュニティへの価値提供は事業を行う上で必要な社会的ライセンスである」という考えのもと、グループ各社の営業拠点が所属するコミュニティに対し、SDGsの視点を取り入れた社会貢献・地域貢献に取り組んでいます。SDGsを事業そのものとして展開し、事業基盤を健全に維持し続けることができるよう、今後この取り組みを強化していく方針です。今号では、三井住友信託銀行の取り組みについて紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▶ 三井住友信託銀行のESD (Education for Sustainable Development) *プロジェクトとSDGs

三井住友信託銀行は、2003年より「環境や生物多様性に関わる課題は企業が取り組むべき基本的問題である」との認識のもと、自らの事業・金融商品・サービスを通じてサステナビリティの取り組みを推進し、課題解決に貢献してきました。

ESDもその取り組みの一つで、国連が推進する持続可能な社会の担い手を育む教育です。

持続可能な社会の実現のためには、私たち一人一人がかけがえのない環境の中で生きていることを認識し、日々の行動を変えていく必要があります。しかし、現在直面している「危機に瀕する土地を守る」だけでは真の持続可能な

社会の実現は困難であると言わざるを得ません。そこで、三井住友信託銀行では、未来思考を用いて「自然の価値が分かる人を育てる」ことでこの目標が達成されると考え、2012年より次世代を担う子供たちへの環境教育を目的としたESDプロジェクトに取り組んでいます。本プロジェクトは、授業のテーマとなるフィールドの近隣に三井住友信託銀行の支店があることを開催地選定の一要件とすることで、各支店が行政機関と連携した広報活動を行うなど独自の地域ブランドの構築につなげています。

※ ESDとは、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育のこと。

▶ オンラインで名古屋ESDプロジェクトを実施しました

ニューノーマルにおける挑戦

三井住友信託銀行は、2020年8月、愛知県内の教職員の皆さま約40人を対象に「ESD推進指導者研修会」を実施しました。研修会では、県内の各学校に
いる参加者と首都圏にいる講師をオンラインでつなぎ、ESDとSDGsを取り入
れた授業の実践にかかる講義をリモート形式で行いました。

研修会前半では、「SDGsを知ろう」をテーマにした講義の後、動画視聴や
個人ワーク、グループワークを行うことで、各自が考えた意見を共有したほか、
探求の時間にどのようにSDGsを反映させたらよいかなど、活発なディスカッ
ションを行いました。研修会後半では、横浜市立日枝小学校の住田昌治校長より、
「教育活動へのSDGsの取り入れ方」をテーマに持続可能な社会の担い手
となるために、「子供たちにどのようにSDGsを理解させるのか」「正解がない
問いに対して共に考え、学ぶにはどうしたらよいのか」など、具体的な取組事例
とともに大変貴重なご講話をいただきました。

今回の研修会は、「講義→ディスカッション→共有→まとめ」を完全リモート
で実施する本プロジェクト初の試みでしたが、参加者の皆さまにはスムーズに
新しい学習の形を体感していただくことができました。

※ 研修会の様子は「動画でみるESD」よりご覧いただけます。



参加者・講師ともにタブレットなどを使用して
研修会に参加



横浜市立日枝小学校から講義を行う
住田昌治校長

4 質の高い教育を
みんなに



SDGsの第4の目標は「教育」です。
三井住友信託銀行ではESDプロジェクトを通じて、
次世代を担う子供たちに「持続可能な社会には
何が求められるのか」を学んでもらいたいと願っ
ています。

ESDページ

こちらから三井住友信託
銀行の取組事例がご覧に
なれます。



With You支店ブログ

各支店の取組詳細につ
いては、こちらをご覧くだ
さい。



三井住友トラスト・グループのトピックス

新商品の開発・取り組み

三井住友信託銀行

国内初の森林信託を受託

三井住友信託銀行は、2020年8月、岡山県西栗倉村に森林を所有する個人のお客さま（以下、森林所有者）より、約10haの森林を信託財産とする「森林信託」を受託しました。この「森林信託」は、商事信託[※]としては、本邦初の信託スキームとなります。森林所有者は、三井住友信託銀行との間で信託契約を締結することにより、森林所有者としての実務から解放され、取得した信託受益権の配当を受領することになります。

「森林信託」は、林業経営や山林の維持管理における担い手不足、相続問題、施業放棄、所有者不明森林などの社会課題を解決する一手段として開発した「信託ならではのSDGsへの取り組みです。

三井住友信託銀行は、「森林信託」の活動を通じ、林業再生や地域の活性化の支援に取り組んでいきます。

※ 商事信託とは信託銀行などが、信託業法などに基づき、営業として信託財産の管理・運用を行うこと。



岡山県西栗倉村

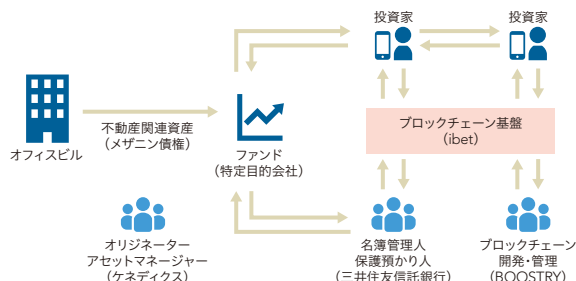
ブロックチェーン技術を活用した「デジタル証券」の発行

三井住友信託銀行は、2020年8月、ケネディクス株式会社および株式会社BOOSTRY（以下、BOOSTRY）と協業して、不動産関連資産を裏付けとする優先出資証券を活用し、BOOSTRYのブロックチェーン基盤「ibet」のシステムで台帳を管理する「デジタル証券」の発行スキームを構築しました。

投資家間の「デジタル証券」の売買取引において、優先出資証券の券面を交付することなく、法的に有効な権利移転が実行される仕組みを構築することで、取引を行った投資家はアプリケーションを通じてブロックチェーン上の記録を確認することが可能となります。

三井住友信託銀行は、今後も、セキュリティ・トークン[※]およびDX（デジタル・トランスフォーメーション）サービスの推進に取り組んでいきます。

※ セキュリティ・トークンとは、ブロックチェーンなどの電子技術を使用してデジタル化し発行される法令上の有価証券のこと。



三井住友トラストクラブ

2020年12月1日。 新しいダイナースクラブが、はじまる。

ダイナースクラブカードを展開する三井住友トラストクラブは、2020年12月、60周年を迎える節目にカードデザインを刷新します。また、新たなブランドメッセージ「ここでもしか、見つけれないものがある。」のもと、会員の皆さまのライフスタイルに寄り添う新しいサービスを提供していきます。

1. 安全面にも配慮したスタイリッシュなカードデザイン

おもて面のエンボス(凹凸のある印字)をなくし、カード情報を裏面に集約。歴史とともに進化してきたグローブをモチーフにしたデザインが、さらに上質で光沢のあるカードに生まれ変わりました。

2. 「ダイナースクラブ コンタクトレス(タッチ決済)」を搭載

サインや暗証番号を入力することなく、対象店舗の端末にカードをタッチするだけでスピーディに決済できるようになります。コロナ影響下での衛生面にも配慮した「新しいお支払いのスタイル」を提案します。

新カード
デザイン



こちらから
ダイナースクラブの
サイトをご覧ください。

住信SBIネット銀行

オンラインによる法人向け 銀行口座開設サービスの開始

住信SBIネット銀行は、2020年8月、邦銀で初めてオンラインで手続きが完結する法人向け銀行口座開設サービスの提供を開始しました。

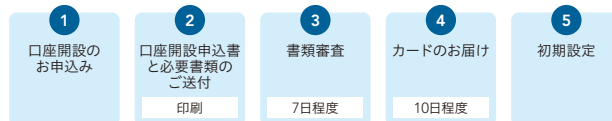
これにより、口座開設時におけるお客さまの事務負担を軽減するとともに、口座開設申込から取引開始までの期間を従来の2～3週間から、最短で翌営業日に短縮することが可能となりました。ウィズコロナの状況下においても、オンライン対面による手続きで利便性の高いサービスをお客さまに提供しています。

住信SBIネット銀行は、今後も最先端のテクノロジーを活用したより良いサービスの提供に努めていきます。

お申込みから取引開始までの流れ

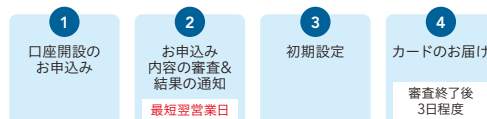
● 郵送口座開設の場合

取引開始までには、口座開設申込書類が到着してから、およそ2～3週間となります。



● オンライン口座開設の場合

キャッシュカードが届く前から、振込による入出金や外貨預金などの銀行取引が可能となります。(最短翌営業日)



運用・受託事業の取り組み

スカイオーシャン・アセットマネジメント

モーニングスターレーティングで 最高評価を獲得

スカイオーシャン・アセットマネジメント(以下、SOAM)^{※1}は、2020年4月、バランス型投資信託の「ブレンドシックス」(純資産総額791億円:2020年9月30日基準)で、モーニングスターレーティング^{※2}最高評価である5ツ星を獲得し、その後も継続して5ツ星の評価を得ています。

本ファンドは、安定型バランスファンドの中でリスク・リターンの効率性が優れているだけでなく、コロナショック時においても下落幅を抑えるなど、運用手法の優位性が評価されました。

SOAMは今後も、三井住友トラスト・グループのノウハウを活かした商品の提供に努めていきます。

※1 SOAMは、三井住友信託銀行、横浜銀行ほか3行が出資する資産運用会社。

※2 モーニングスターレーティングとは、モーニングスター株式会社が独自に算出した数値を1ツ星から5ツ星まで5段階でランク付けしたもの。



本商品の詳細は、
こちらをご覧ください。



URLはこちら
<https://www.soam.co.jp/file/729cdc364a308c8664a2c04029504835aeea6c71.pdf>

日興アセットマネジメント

責任投資原則(PRI)2020年次評価、 「戦略とガバナンス」で7年連続の最上位評価

日興アセットマネジメント(以下、NAM)は、国連がサポートする責任投資原則(PRI)[※]による2020年の評価報告書において、全社的なESG運用体制の評価項目である「戦略とガバナンス」、およびインハウス運用に関する全ての項目で最上位評価である「A+」を獲得しました。「戦略とガバナンス」に関して、NAMが最上位評価を獲得するのは7年連続となります。

NAMは引き続き、フィデューシャリー・ESG原則の精神に立脚した行動と創意工夫による改善を通じて、お客さまのニーズに沿った質の高い投資ソリューションを提供していきます。

※ 責任投資原則(PRI)とは、2006年4月に、国連がESGにおける諸課題を投資の意思決定プロセスに反映させることを提唱した原則のこと。NAMは、2007年10月にPRIの署名機関となった。

Signatory of:



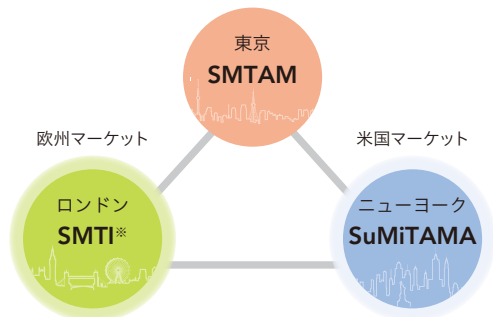
三井住友トラスト・アセットマネジメント

ニューヨークに現地法人を設立

三井住友トラスト・アセットマネジメント(以下、SMTAM)は、米国ニューヨーク州に、各種リサーチとクライアントサービスの機能を具備した100%出資の現地法人Sumitomo Mitsui Trust Asset Management Americas, Inc.(以下、SuMiTAMA)を設立し、2020年7月1日に業務を開始しました。

米国は、規模と先進性の両面で資産運用ビジネスの世界的中心地であり、SuMiTAMAの活動を通じて、さらなる運用力の高度化と海外投資家からの運用受託残高の拡大を目指します。

今後、スチュワードシップ活動をはじめとしたリサーチ活動では、東京・ロンドン・ニューヨーク三極の体制で、ESG投資を含む資産運用業務の一層の高度化を図っていきます。



※ 三井住友トラスト・インターナショナル(SMTAMの100%出資会社)の略。

日本カストディ銀行

本邦最大の資産管理専門銀行が発足

2020年7月、JTCホールディングス株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社および資産管理サービス信託銀行株式会社の3社が合併し、新銀行「株式会社日本カストディ銀行(以下、日本カストディ銀行)」が発足しました。

日本カストディ銀行は、三井住友信託銀行が受託した年金信託や証券投資信託などの再信託業務に加え、生命保険会社の有価証券管理など、多様な資産管理サービスを提供しています。

今後も、本邦最大の資産管理専門銀行として、高品質かつ安定的なサービスを提供し、証券決済インフラを支える社会的使命を果たしていきます。



三井住友信託銀行 店頭クローズアップ

今回は、
神戸支店・神戸三宮

当グループがお客さまにとって一番身近な「信託銀行」となるよう、三井住友信託銀行の支店の特徴、地域の皆さまとの触れ合い、また、社員からお客さまへのメッセージをご紹介します。

神戸支店・神戸三宮支店



来店予約や休日営業も実施しています

神戸支店・神戸三宮支店のお客さまは70歳以上の方が3分の1以上を占める一方で、お子さまやお孫さまなどご家族ぐるみでお取引いただき、若い世代のお客さまも増えつつあります。

当店は、JR・阪急・阪神・地下鉄からのアクセスにも恵まれ、百貨店や地下街も近いため、多くのお客さまに、お買い物やお食事のついでにお立ち寄りいただいています。また、お客さまに安心してご相談いただけるよう、混雑緩和のための来店予約や休日営業も実施していますので、お気軽にお申しつけください。

今後も、特にお客さまへの心配りを大切に、支店一丸となったサービスのご提供を目指していきます。

神戸支店・神戸三宮支店 担当者からひとこと



緊急事態宣言発令時には、お客さまに会うことができない日が続いていましたが、最近はお話する機会も増え、お電話の時よりも「実はね～」とお悩みを話してくださる方が増えた気がします。皆さまに支えられて当店は今年で開店70周年を迎えました。これからも末永く、皆さまにご満足いただけるよう、社員一同努力を続けていきます。

神戸・神戸三宮とは…

- ・神戸支店・神戸三宮支店が立地する神戸市は、日本の市で6番目の人口を有する政令指定都市です。
- ・山と海に囲まれた豊かな自然、日本最古の温泉である有馬温泉、灘の酒蔵など、街の魅力は尽きることがありません。
- ・神戸のシンボル「六甲山」から見る夜景は息をのむ美しさで、神戸港から遠く大阪湾へと続く光のページェントを堪能することができます。



店内エスカレーターの手すりも定期的に消毒しています。



受付ブースには飛沫感染防止のアクリル板を設置し、受付ごとにロビーアテンダントがアクリル板・机・椅子の肘掛け・ボールペンなどを消毒しています。



「支店ブログ」で支店の活動を紹介中

こちらから、地域での活動やイベント情報など取組事例がご覧になれます！

支店と松戸支店をご紹介します。

松戸支店



感染拡大防止に向けた対策を取っています

松戸支店は松戸駅西口から徒歩3分の場所に位置し、松戸市内唯一の信託銀行として、市内をはじめ、近隣地域の方々にもご利用いただいています。地域に長くお住まいのお客さまから、相続・不動産に関するご相談を承ることも多く、人生100年時代を迎え、大切な財産を次世代にスムーズに引き継ぐお手伝いをしています。

店内では、消毒液やマスクのご案内、ATMや給湯器コーナーのこまめな消毒などにより、お客さまに安心してご利用いただけるよう、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組んでいます。

これからもお客さまのニーズにお応えできるよう、社員一同取り組んでいきます。

松戸支店 担当者からひとこと



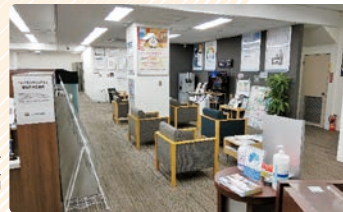
当店は松戸市近隣の皆さまに支えられ、今年で開店40周年を迎えました。将来に向けた備えやセカンドライフの準備、相続対策など、さまざまな世代のお客さまに寄り添ったご提案ができるよう、専門知識を持った社員がお待ちしております。ご来店を控えたいお客さまのニーズに応え、ZOOMなどを活用したオンライン相談も承っています。ぜひお気軽にご相談ください。

松戸とは…

- ・江戸時代の宿場町。千葉県の北西部に位置しており江戸川をはさんで東京都と埼玉県に隣接しています。
- ・松戸駅は常磐線では千葉県内で最も東京に近い駅であり通勤通学に便利。駅はいつも人で賑わっています。
- ・江戸川の松戸とフーテンの寅さんの舞台である柴又を結ぶ「矢切の渡し」が有名。昔、同タイトルの演歌が大ヒットしました。



各窓口にアクリル板を設置しています。



消毒液を設置し、お待合スペースの椅子の間隔を確保しています。



「支店ブログ」で支店の活動を紹介中

こちらから、地域での活動やイベント情報など取組事例がご覧になれます！

業績ハイライト

2020年度中間期決算の概要(連結)

	(単位: 億円)		
	2019年度 中間期	2020年度 中間期	増減
実質業務純益※1	1,541	1,410	△ 130
実質的な 資金関連の損益※2	1,309	1,366	57
手数料関連利益	2,015	1,791	△ 223
その他の利益	445	429	△ 16
総経費	△ 2,228	△ 2,176	51
経常利益	1,511	1,134	△ 376
親会社株主に 帰属する中間純利益	1,060	800	△ 259

与信関係費用	△ 12	△ 20	△ 8
--------	------	-------------	-----

	(単位: 億円)		
	2019年度 中間期	2020年度 中間期	増減
株主資本当期純利益率 (株主資本ROE)	9.32%	6.76%	△2.56%
自己資本当期純利益率 (自己資本ROE)	7.96%	6.19%	△1.77%
1株当たり中間純利益 (EPS)	円 銭 281.86	円 銭 213.84	円 銭 △ 68.02
	2020年 3月末	2020年 9月末	増減
総資産	565,005	598,436	33,430
純資産	25,909	26,378	469
1株当たり純資産 (BPS)	円 銭 6,822.48	円 銭 6,948.10	円 銭 125.62

三井住友信託銀行(単体)

信託財産残高	224兆円	234兆円	10兆円
--------	-------	--------------	------

※1 実質業務純益は、持分法適用会社の損益等も考慮した社内管理ベースの計数です。

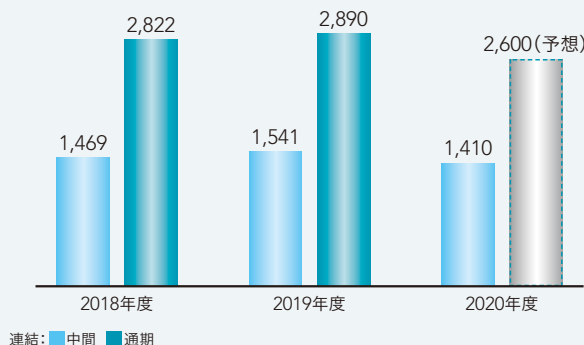
※2 実質的な資金関連の損益は、「資金関連利益」に「外国為替売買損益」に含まれる外貨余資運用益を加算したものです。

2020年度中間期振り返り

- 実質業務純益、親会社株主に帰属する中間純利益はともに前年同期比減益。
- 新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響は期初想定比では限定的。お客さまの資金需要にお応えしつつ、健全な財務状況を維持。
- 自己資本比率等は、規制所要水準を十分に上回る水準を継続して維持。

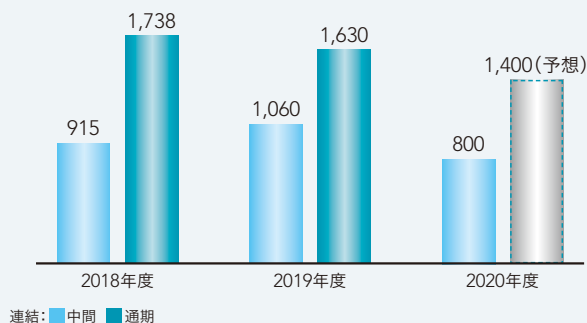
■ 実質業務純益

(億円)



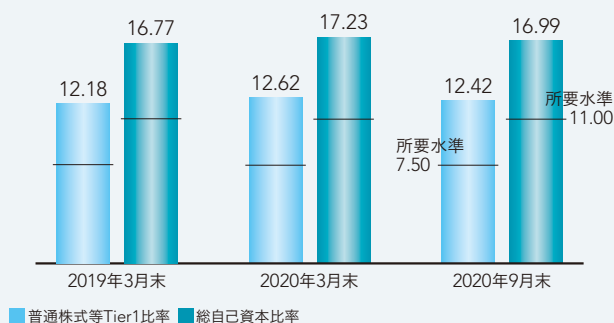
■ 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(億円)



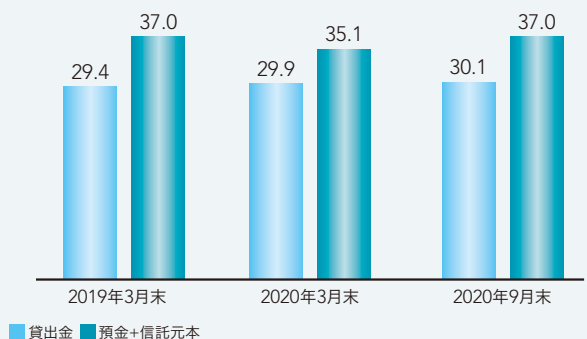
■ 自己資本比率等

(%)



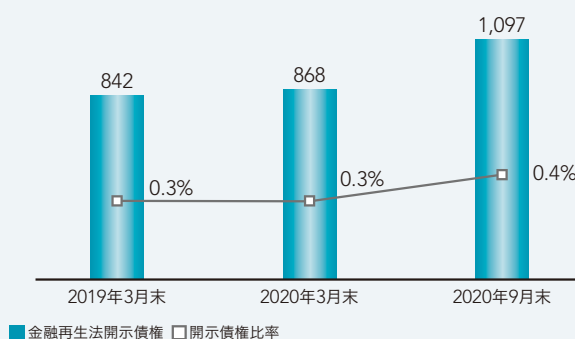
■ 貸出金・預金(三井住友信託銀行)

(兆円)



■ 金融再生法開示債権(三井住友信託銀行)

(億円)



会社概要 (2020年9月30日現在)

商 号	三井住友トラスト・ホールディングス株式会社 <英語表記:Sumitomo Mitsui Trust Holdings, Inc.>
設 立	2002年2月1日
資 本 金	2,616億872万5,000円
本 店	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 ☎ 03-6256-6000(代表)
上場証券取引所	東京(第1部)、名古屋(第1部) 証券コード:8309

役員 (2020年9月30日現在)

取締役執行役社長 (代表執行役)	おおくぼ てつお 大久保 哲夫	取締役	つねかげ ひとし 常陰 均	取締役(社外)	まつした いざお 松下 功夫
取締役執行役専務 (代表執行役)	あらうみ じろう 荒海 次郎	取締役	しゅどう くにゆき 首藤 邦之	取締役(社外)	さいとう しんいち 齋藤 進一
取締役執行役専務 (代表執行役)	にしだ ゆたか 西田 豊	取締役	たなか こうじ 田中 浩二	取締役(社外)	よしだ たかし 吉田 高志
取締役執行役	はしもと まさる 橋本 勝	取締役(社外)	すずき たけし 鈴木 武	取締役(社外)	かわもと ひろこ 河本 宏子
取締役	きたむら くにたろう 北村 邦太郎	取締役(社外)	あらき みきお 荒木 幹夫	取締役(社外)	あそう みつひろ 麻生 光洋

株式についてのご案内

決算期	3月31日	株式事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ● 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ● 電話照会先 0120-782-031
配当金受領 株主確定日	期末配当金…3月31日 中間配当金…9月30日		
単元株式数	100株		
公告掲載方法	電子公告により行います。 (電子公告のサイトのURLは、 https://www.smth.jp/ です) ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載致します。	会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	890,000,000株
発行済株式の総数	普通株式…375,291,440株
株主数	普通株式…60,087名



こちらから、とらすと通信の本誌
およびバックナンバーをご覧いただけます。

存在意義(Purpose)

信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる

経営理念(Mission)

- (1) 高度な専門性と総合力を駆使して、お客さまにとってトータルなソリューションを迅速に提供してまいります。
- (2) 信託の受託者精神に立脚した高い自己規律に基づく健全な経営を実践し、社会からの揺るぎない信頼を確立してまいります。
- (3) 信託銀行グループならではの多彩な機能を融合した新しいビジネスモデルで独自の価値を創出し、株主の期待に応えてまいります。
- (4) 個々人の多様性と創造性が、組織の付加価値として存分に活かされ、働くことに夢と誇りとやりがいを持てる職場を提供してまいります。

目指す姿(Vision)

「The Trust Bank」の実現を目指して

三井住友トラスト・グループは、信託の受託者精神に立脚し、高度な専門性と総合力を駆使して、銀行事業、資産運用・管理事業、不動産事業を融合した新しいビジネスモデルで独自の価値を創出する、本邦最大かつ最高のステイタスを誇る信託銀行グループとして、グローバルに飛躍してまいります。

行動規範(Value)

私たち、三井住友トラスト・グループの役員・社員は、グループ経営理念を実践するため、以下の6つの行動規範を遵守してまいります。

お客さま本位の徹底 一信義誠実一

私たちは、最善至高の信義誠実と信用を重んじ確実を旨とする精神をもって、お客さまの安心と満足のために行動してまいります。

社会への貢献 一奉仕開拓一

私たちは、奉仕と創意工夫による開拓の精神をもって、社会に貢献してまいります。

組織能力の発揮 一信頼創造一

私たちは、信託への熱意を共有する多様な人材の切磋琢磨と弛まぬ自己変革で、相互信頼と創造性にあふれる組織の力を発揮してまいります。

個の確立 一自助自律一

私たちは、自助自律の精神と高い当事者意識をもって、責務を全うしてまいります。

法令等の厳格な遵守

私たちは、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会規範にもとることのない企業活動を推進してまいります。

反社会的勢力への毅然とした対応

私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力に対して、毅然とした姿勢を貫いてまいります。



三井住友トラスト・ホールディングス
SUMITOMO MITSUI TRUST HOLDINGS



本冊子は環境にやさしい植物油インキと適切に管理された木材を原料としてつくられた「FSC®認証紙」を使用しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



表紙写真：氷河（北極グリーンランド）
自然環境保護をテーマとした写真を表紙絵に採用
しています。